

暑さ厳しい夏の日々も早ここまで…北からオホーツク海高気圧がやってきたようです。皆様いかがお過ごしでしょうか。大変長らくみそら野便りの発行をお休ませてしまい申し訳ありませんでした。(筆者、産休につき発行休止状態となっていました。)みそら野便りを楽しみにしていますという声をたくさんいただきましたので久しぶりにみそら野や白馬界隈の近況をお知らせします。

今年も昨年同様かなりの豪雪にみまわれました。とくに1月末から2月中旬にかけては連日降り続き、別荘滞在の方にお帰りいただいたり、来別荘予定の方には延期いただいたり、当地で生活している私でさえ(白馬村北隣の小谷村ですが…)除雪が間に合わず家から出ることが不能となり出勤できない数日があるほどの雪の降り様でした。大きく見れば暖冬傾向が続いているようでもあります。2年続けて降雪量充分の白馬方面でした。各スキー場も営業日をいくらか伸ばした模様です。又、7月下旬になっても山の積雪は例年にない多さで小谷村と新潟県境の金山(妙高山方面)では登山道整備作業も雪渓に阻まれた距離が長かったと聞いています。春の訪れも幾らか遅めでしたがその後は、爽やかな初夏、梅雨らしい梅雨、きりっと暑い盛夏といった具合に順当に季節も自然も移り変わりました。

道路関連の情報をお知らせします。長野-白馬間のオリンピック道路も順調に開通区間を伸ばし、かつての難所「青具峠」のトンネル化も7月には完了、開通となり、長野まで30分時代が間近となってきました。飯森から名鉄団地、平川を渡りみそら野別荘地脇を通過するオリンピック道路部分もその姿を表しはじめ、12月には八方まで開通予定です。また、南へ目を向ければ、豊科インターまでの区間も佐野坂の新トンネル工事や高瀬川沿いにバイパス道工事が進み、時間短縮、渋滞解消にむけて急ピッチの変化が見られそうです。但し、国道148号を北へむかうと今年の豪雨災害の爪跡痛々しく、復旧工事箇所が続き、少しまとまった雨が降る度、通行止めや迂回となる状態は今しばらく続きそうです。小谷村界隈の災害復旧工事は只今1000箇所を超え、平日はその関係車両の往来がすごいので通過の際は気をつけて下さいね。

不動産関連では、残念ながら地価の緩やかな下降傾向は続き、売買の少ない状況も続いています。当社でも引き続き別荘及び別荘地の売買取引の成約にむけて努力中です。又、不動産業務の強力な提携先である信州不動産に今まで以上の努力をお願いしており、今回は、信州不動産発行の「みそら野不動産情報」を別紙添付しますので詳しくはそちらをお読み下さい。不動産を売却された場合の長期譲渡所得税は、今年の1月1日に溯りようやく特別控除後の課税税率が、4000万以下の場合26%まで引き下げられました。尚、参考の為…4000万超8000万以下32.5%、8000万超39%です。このことは、売り手にとっては、お手元に残る額の増加に繋がる為ある程度の値下げに応じやすくなり、売買の活性化へ向かう一因になるのではないのでしょうか。

もう一つ税金に関して…来春の消費税5%実施関連では、今年9月末までの建物建築請負契約完了物件につき3%適用ですので、今年後半～来春早々の別荘建築数がいくらか増加するのではないかと思います。

催物のお知らせを!長野オリンピックの準備の一環として、今年のW-CUP男子滑降等開催に引き続き、来年2月には、W-CUP女子競技が八方のゲレンデで行われます。悪天候に阻まれ、又、国際大会開催の際の諸問題を経験した今年の大会を土台にスムーズな運営、感動に残る素晴らしいW-CUPとなることでしょう。

みそら野別荘地を管理している私どもですが、いつも慌ただしく管理業務のために飛び回っており、ここに一時をすごす方々の気持ちになってのんびりと散策する機会を逸していますが、少し歩いてみました。分譲当時はまだ低かったであろう樹木はその幹や枝を伸ばしそよそよざわざわと風に揺れ、石や岩はほどほどに苔むし、小鳥のさえずり蝉の声、源太郎の谷近くへ足を伸ばせば躑躅を落ちる水音、点在する建物に、散歩する人の姿、あらゆる喧噪からはなれた成熟した別荘地の姿を感じることができました。

そうそう、歩いて行ける距離にエコーランドの湯という温泉も新たにできました。開発や発展と時間の止まったような落ち着いた感じがシーソーゲームしている今日この頃のみそら野です。秋の訪れに向け皆様お元気でお過ごしください。

みそら野管理事務所 Y. KANNO

※ F I S 白馬サマージャンプ大会 9/21(土) ノーマルヒル
9/22(日) ラージヒル 9時開始予定 是非会場へお越し下さい。